

# 2014 環境活動レポート

持続可能な社会を目指して…

(2014.4～2015.3)



《2014年度環境活動レポート	2015年6月30日 発行》	
		ページ
目次	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
環境方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
会社及び事業概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	4-5
環境経営システム組織図	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
環境目標とその実績	・・・・・・・・・・・・・・・・	7-8
環境活動計画の取組結果とその評価	・・・・・・・・・・・・・・・・	9-14
環境改善活動報告	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
環境関連法規遵守状況、次年度の取組内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
代表者による全体評価と見直しの結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	17

## 大阪金属株式会社

### ◇経営理念

情熱・信念・和で技を磨き、人材と製品づくりを通して社会に貢献します。

### ◇品質方針

私たちは顧客満足の向上の為、優れた技術力と人材で「お客様に信頼される品質確保」を目指し、確かな製品を提供します。

又、品質マネジメントシステムの有効性を、継続的に改善して競争力のある強い企業をめざします。

### ◇スローガン

情熱と信念で誇れる製品を作ろう (クレームゼロをめざす!!)



## 基本理念

私たちは、社会の一員として、  
産業界への貢献を目指し、  
人材と製品づくりを通して自主的かつ  
積極的に環境保全活動に努め、  
お客様から信頼される企業を目指します。



大阪金属株式会社  
代表取締役 阪口 新太郎

## 行動指針

具体的に次のことを誓約します。

1. 環境関連法規の遵守
2. 電力及び燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
3. 原材料の節減、3R(減量・再使用・再生利用)の推進による廃棄物の削減
4. 水資源の節減
5. 化学物質使用量の管理、削減
6. グリーン購入やグリーン調達の推進
7. 当社の製品及びサービスにおける、環境に配慮した生産・活動の積極的導入
8. 全社員の環境学習の推進

この環境方針は、社外へも公表します。



制定日 : 2008年9月26日  
改訂日 : 2010年10月1日  
代表取締役 阪口 新太郎

(1) 事業者名及び代表者名

大阪金属株式会社  
代表取締役 阪口 新太郎



(2) 所在地



本 社：  
大阪府高石市高砂3丁目30番地



和泉工場：  
大阪府和泉市テクノステージ1丁目3番5号



朋友金属(株)：  
大阪府和泉市春木町68番地

平成19年11月取得

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

本 社	： 管理責任者	総務部部长	藤岡 直樹	TEL：072-268-0151
本 社	： 推進委員	総務部部长	藤岡 直樹	TEL：072-268-0151
和泉工場	： 推進委員	品質管理部係長	諏訪 達紀	TEL：0725-53-5050
朋友金属	： 推進委員		住本 薫	TEL：0725-53-3991

(4) 事業内容（認証・登録の範囲）

全組織・全活動  
各種鋳物製品の開発・設計・製造・加工及び販売

(5) 事業の規模

- ・売上高（平成26年度実績） 本社 496百万円 和泉工場 1,935百万円 朋友金属 1,784百万円
- ・本社工場生産量 月産300トン（能力規模）
- ・従業員 64名（内数：朋友金属(株) 27名） \*2015年4月1日現在
- ・建屋規模（床面積）
 

本社・本社工場	1,094 m <sup>2</sup>
和泉工場	970 m <sup>2</sup>
朋友金属	1719 m <sup>2</sup>

(6) なにわの名工（若葉賞）

北道 清二 製造部 課長 平成15年11月受賞

(7) 事業年度 4月～3月

## 会社及び事業概要(本社工場 生産の流れ)

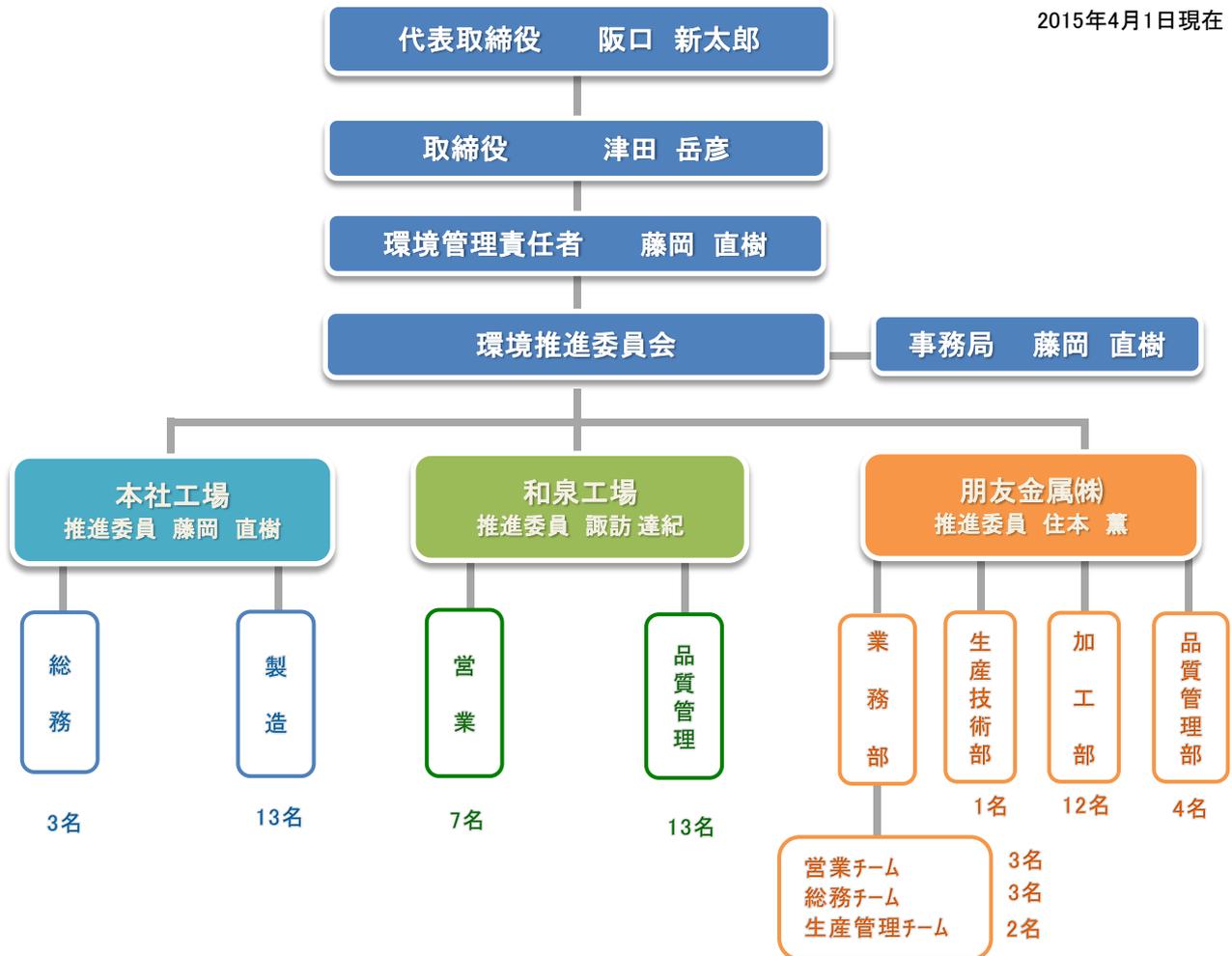
生産工程に採用のFBOX-Ⅱラインは、簡易型、木型を問わず生産が可能です。  
しかも、型交換が容易なため、フレキシブルさが求められる多品種ロット生産にも迅速に対応します。  
微妙な元素の配合や鑄造・冷却温度の設定を可能にするなど、徹底した品質管理を行うことで、  
高品質な製品をお届けしています。  
また、どの工程においても振動・騒音・粉塵・排水などの公害防止設備を設置し、  
工場をとり巻く周辺環境の安全性にも細心の注意をはらっています。



また、忘れてはならないのが、私たちの生産ネットワークです。  
様々な鑄造製品の製造で定評のある協力工場と積極的に協力体制を結び、  
大物から小物まであらゆるニーズに迅速・確実に対応する生産システムを構築することで  
コストダウンとクオリティアップを図っているのです。



2015年4月1日現在



	役割・責任・権限
代表者 【社長】	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する最高責任者</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>環境方針の策定、全従業員へ周知</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 推進委員会委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築・実施・管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・活動計画書・活動レポートの確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> </ul>
環境推進委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境への負荷及び取組の自己チェックの実施</li> <li>「環境関連法規等取りまとめ表」の作成及び遵守評価の実施</li> <li>環境目標・活動計画書の作成</li> <li>活動実績集計</li> <li>外部コミュニケーションの窓口</li> <li>活動レポートの作成、公開</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの実施</li> <li>環境方針の周知</li> <li>活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>緊急事態への対応のためのテスト・訓練・記録</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められたことを守り、部門長の支持に従い取組を実行する</li> <li>自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

環境目標項目	対象サ卜別		前年度	2014年度(4~3月)				次年度目標	中期目標	
			2013年度	目標	実績	達成率	前年比	2015年度	2017年度	
規模	本社工場	生産量(t)	2,260	-----	2,196		-----	-----	-----	
		従業員	18 人	-----	18 人		-----	-----	-----	
	和泉工場	販売量(t)	8,822	-----	8,915		-----	-----	-----	
		従業員	18 人	-----	18 人		-----	-----	-----	
	朋友金属	業務加工	取扱高(t)	7,063	-----	7,602		-----	-----	-----
			従業員	21 人	-----	24 人		-----	-----	-----
二酸化炭素 排出量 (kg-CO2)	本社	総量	1,683,159	1,666,327	1,695,081	98%	0.7% 増加	1,678,130	1,628,003	
		原単位	744.8 /t	737.3 /t	771.9 /t	96%	3.6% 増加	764.2 /t	709.7 /t	
	和泉	総量	70,120	69,419	71,925	97%	2.6% 増加	71,206	78,225	
		原単位	7.95 /t	7.9 /t	8.1 /t	98%	34.2% 増加	8.0 /t	11.4 /t	
	朋友	総量	147,907	146,428	160,796	91%	8.7% 増加	159,188	124,173	
		原単位	19.80 /t	19.6 /t	19.97 /t	98%	0.9% 増加	19.77 /t	19.55 /t	
	排出係数 0.514	総量計	1,901,186		1,927,802		1.4% 増加			
		太陽光発電による排出軽減量			41,224					
		太陽光発電による埋合せ排出量			1,886,578		0.8% 削減			
	エネルギー 使用量の削減	本社	総量	3,184,879	3,153,030	3,188,527	99%	0.1% 増加	3,156,642	3,004,684
原単位			1,409 /t	1,395 /t	1,452 /t	96%	3.0% 増加	1,437 /t	1,310 /t	
和泉		総量	62,483	61,858	64,387	96%	3.0% 増加	63,743	67,357	
		原単位	7.1 /t	7.0 /t	7.2 /t	97%	2.0% 増加	7.2 /t	9.8 /t	
朋友金属		業務加工	総量	7,230	7,158	6,872	104%	5.0% 削減	6,803	6,596
			原単位	1.02 /t	1.01 /t	0.90 /t	112%	11.7% 削減	0.89 /t	1.10 /t
		加工	総量	228,501	226,216	259,445	87%	13.5% 増加	256,851	192,811
			原単位	563.9 /t	558.2 /t	577.5 /t	97%	2.4% 増加	571.8 /t	520.59 /t
		総量計	3,483,093		3,519,231		1.0% 増加			
		太陽光発電電量			53,818					
	太陽光発電による埋合せ電力量			3,465,413		0.5% 削減				
ガソリン (L)	本社	総量	-	-	-			-	-	
		原単位	-	-	-			-	-	
	和泉	総量	2,827	2,799	5,144	54%	82% 増加	5,093	2,981	
		原単位	0.320 /t	0.317 /t	0.577 /t	55%	80% 増加	0.571 /t	0.433 /t	
	朋友	総量	6,186	6,124	4,883	125%	21.1% 削減	4,834	5,165	
		原単位	0.828 /t	0.820 /t	0.607 /t	135%	26.8% 削減	0.601 /t	0.813 /t	
	総量計	9,013		10,027		11.3% 増加				
軽油 (L)	本社	総量	-	-	-			-	-	
		原単位	-	-	-			-	-	
	和泉	総量	8,256	8,173	6,944	118%	15.9% 削減	6,875	8,982	
		原単位	0.936 /t	0.930 /t	0.779 /t	119%	16.8% 削減	0.771 /t	1.306 /t	
	朋友	総量	3,666	3,629	3,411	106%	7.0% 削減	3,377	2,632	
		原単位	0.491 /t	0.486 /t	0.424 /t	115%	13.7% 削減	0.419 /t	0.414 /t	
	総量計	11,922		10,355		13.1% 削減				

環境目標項目	対象サイト別		前年度	2014年度(4~3月)				次年度目標	中期目標	
			2013年度	目標	実績	達成率	前年比	2015年度	2017年度	
産業廃棄物排出量の削減 (トン)	本社	コウサイ	総量	553	547.5	556.6	98.4%	0.7% 増加	551	523
			原単位	0.245 /t	0.242 /t	0.253 /t	96%	3.6% 増加	0.251 /t	0.228 /t
	和泉	木くず	総量	102.47	101.4	111.6	91%	8.9% 増加	110.5	68.7
			原単位	0.0116 /t	0.0115 /t	0.0125 /t	92%	7.8% 増加	0.0124 /t	0.010 /t
	朋友	一般廃棄物	総量	1.290	1.277	1.542	83%	19.5% 増加	1.527	1.421
			原単位	0.173 kg/t	0.171 kg/t	0.192 kg/t	89%	10.9% 増加	0.190 kg/t	0.224 kg/t
総量計			657		670		2.0% 増加			
水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	本社		総量	3,244	3,212	3,823	84%	17.8% 増加	3,785	3,182
			原単位	1.435 /t	1.421 /t	1.741 /t	82%	21.3% 増加	1.723 /t	1.387 /t
	和泉		総量	260.0	257.4	192.0	134%	26.2% 削減	190.1	343.9
			原単位	0.029 /t	0.029 /t	0.022 /t	135%	26.9% 削減	0.0213 /t	0.050 /t
	朋友	(生活用水使用量)	総量	343.3	343.3	399.3	86%	16.3% 増加	399.3	344.8
			原単位	1.479 /人	1.479 /人	1.592 /人	93%	7.6% 増加	1.592 /人	1.675 /人
	(加工部)	総量	5.032	5.032	7.214	70%	43.4% 増加	7.214	7.011	
総量計			3,847		4,422		14.9% 増加			
化学物質使用量の削減 (L)	本社	トルエン	原単位	0.0480 /t	0.0475 /t	0.0794 /t	60%	65.4% 増加	0.0786 /t	0.0361 /t
		ホウ酸	原単位	0.0319 /t	0.0316 /t	0.0295 /t	107%	7.5% 削減	0.0292 /t	0.026790 /t
	和泉	トルエン	原単位	0.0263 /t	0.02604 /t	0.0095 /t	274%	63.9% 削減	0.0094 /t	0.0175 /t
		キシレン	原単位	0.0039 /t	0.00386 /t	0.0013 /t	297%	66.7% 削減	0.0013 /t	0.0027 /t
		エチルベンゼン	原単位	0.0031 /t	0.00307 /t	0.0010 /t	307%	67.7% 削減	0.0010 /t	0.0024 /t
	朋友			-			-	-	-	
グリーン購入の推進	本社		58.3%	58.9%	53.0%	90%	9.1% 減少	53.5%	45.2%	
	和泉				-	-		-	-	
	朋友		48.8%	49.3%	49.9%	101%	2.3% 増加	50.4%	53.97%	
環境に配慮した生産・活動の推進	本社		5.7%	5.6%	7.7%	73%	35.1% 増加	7.6%	4.85%	
	和泉		1.5%	1.5%	3.4%	44%	126.7% 増加	3.37%	3.52%	
	朋友		3.60%	3.6%	4.5%	79%	24.7% 増加	4.45%	5.51%	

各サイトの使用燃料の内、灯油・LNG・LPGの各使用量は、季節要因もあり量的にも僅少で、当面環境目標としての扱いはしない整理とした。

又、本社のガソリン及び軽油についても当面、環境目標としての扱いはしない。

また朋友金属の化学物質使用量も同様とする。

\*購入電力CO2排出係数:0.514kgCO2/kWh(2012年度関西電力(株)実排出係数)

## 電気使用量削減

目標：2013年度実績の1%削減(原単位)

本  
社

- 2014年度の環境取組計画
1. 不要な照明を消す・空調の適正管理
  2. メンテナンスの強化
  3. 工場機械用品の作業効率化

	目標	実績
【原単位】	1,395 kWh/t	1,452 kWh/t
【総量】	3,153,030 kWh	3,188,527 kWh



原単位、使用量とも未達成だった。不良率・歩留の悪化で原単位も上昇した。生産技術向上を図らなくては中期目標達成は厳しい状況。



和  
泉  
工  
場

- 2014年度の環境活動計画
1. 不要な照明を消す
  2. 空調の適正管理
  3. 工場機械用品の作業効率化

	目標	実績
【原単位】	7.0 kWh/t	7.2 kWh/t
【総量】	61,858 kWh	64,387 kWh



未達成となったが中期目標に対しての原単位は達成し、よい水準を保っているため、このまま持続させたい。



朋  
友  
金  
属

- 2014年度の環境活動計画
1. 不要な照明、電気機器の電源OFF
  2. 空調の温度設定(夏: 28℃、冬20℃)
  3. 効率の良い生産計画

	加工 目標	実績
【原単位】	558.2 kWh/t	577.5 kWh/t
【総量】	226,216 kWh	259,445 kWh



	業務 目標	実績
【原単位】	1.01 kWh/t	0.90 kWh/t
【総量】	7,158 kWh	6,872 kWh



加工の原単位、使用量とも未達成となった。加工機の増設、稼働時間の増加が原因と思われる。営業の原単位、使用量とも達成となった。冬の暖房としての薪ストーブが貢献したと考えられる。



### □ 電気使用量削減の取組事例

- ・太陽光発電システムの導入
- ・省エネ型エアコンの使用
- ・省エネ型コピー機の使用
- ・トイレの便座蓋を閉めて節電
- ・離席時のPCをスリープ状態に
- ・LED電球への切り替え
- ・ unnecessary 電灯の消灯
- ・お昼休みのエアコンOFF
- ・日よけスクリーン



太陽光発電システム(和泉工場)



啓発ポスター

□ 電気使用量実績推移

取組項目		単位		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
本社	電気使用量削減	総量	kWh	3,275,520	3,082,332	2,679,277	3,307,760	3,160,369	3,162,825	3,184,879	3,188,527	
		原単位	kWh/t	1,580.1	1,528.2	1,520.6	1,498.0	1,436	1,379	1,409	1,452	
和泉工場	電気使用量削減	総量	kWh	83,165	62,980	70,503	77,011	77,443	70,902	62,483	64,387	
		原単位	kWh/t	12.8	10.5	16.2	13.7	11.6	10.3	7.1	7.2	
朋友金属	電気使用量削減	業務	総量	kWh			5,615	7,043	7,404	6,943	7,230	6,872
			原単位	kWh/t			2.03	1.84	1.46	1.16	1.02	0.90
		加工	総量	kWh	60,040	105,090	71,886	126,584	142,313	202,959	228,501	259,445
			原単位	kWh/t	13.20	23.30	670.5	657.4	497.1	548.0	563.9	577.5

ガソリン使用量削減

目標：2013年度実績の1%削減(原単位)

和泉工場

2014年度の環境取組計画  
1.アイドリングストップ 2.適正速度の実施

	目標	実績
【原単位】	0.317 L/t	0.577 L/t
【総量】	2,799 L	5,144L

品管の出動回数が増えたことと営業車が1台増えたことにより、使用量が増加した。

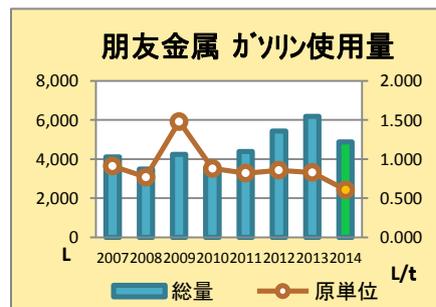


朋友金属

2014年度の環境取組計画  
1.効率的な運転 2.アイドリングストップ  
3.迅速な不具合対策

	目標	実績
【原単位】	0.820 L/t	0.607 L/t
【総量】	6,124 L	4,883 L

製品取扱高が増加したにもかかわらず、ガソリンの使用量、原単位とも減少した。双方での目標が達成でき良い結果となった。遠方の取引先の不具合発生が減少し出動回数が減った為と思われる。



□ 実績推移

取組項目		単位		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
和泉工場	ガソリン	総量	L	3,889	4,358	2,524	2,753	2,702	3,138	2,827	5,144
		原単位	L/t	0.600	0.730	0.580	0.490	0.410	0.460	0.320	0.577
朋友金属	ガソリン	総量	L	4,116	3,490	4,235	3,540	4,389	5,437	6,186	4,883
		原単位	L/t	0.910	0.770	1.480	0.880	0.820	0.856	0.828	0.607

□ ガソリン使用量削減の取組事例



・ハイブリッドカーの利用

・「エコドライブのすすめ」による啓発

1. ふんわりアクセル「eスタート」～緩やかな発進（5秒で時速20キロが目安）を～
2. 加減速の少ない運転～車間距離を保って、余裕のあるドライブを～
3. 早めのアクセルオフ～排出量だけでなく、燃料消費も低減させる、エンジンブレーキの活用を～
4. エアコンの使用を控えめに～気象条件に応じてこまめに温度・風量の調節を～
5. アイドリングストップ～アイドリングストップで排出量と燃料消費の低減を～
6. 暖機運転は適切に～エンジン始動後は、すぐに出発を～
7. 道路交通情報の活用～出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等のチェックを～
8. タイヤの空気圧をこまめにチェック～確実な点検・整備を～
9. 不要な荷物は積まずに走行～必要のないものは車から下ろす習慣を～
10. 駐車場所に注意～交通の妨げにならない場所での駐車を～



## 軽油使用量削減

目標：2013年度実績の1%削減(原単位)

和泉工場

2014年度の環境取組計画

1. アイドリングストップ
2. 適正速度の実施

	目標	実績
【原単位】	0.930 L/t	0.779 L/t
【総量】	8,173 L	6,944 L

効率よく配送出来た事と、配送業務を一部外注へ委託したことにより、目標達成出来た。



朋友金属

2014年度の環境取組計画

1. 効率的な運転
2. アイドリングストップ

	目標	実績
【原単位】	0.486 L/t	0.424 L/t
【総量】	3,629 L	3,411 L

原単位、総量とも減少し目標達成となった。ガソリン同様、出動回数の減少で達成となった。今後も不具合対策、効率的な運転にさらに取り組みたい。



□ 軽油使用量削減の取組事例 ・「エコドライブのすすめ」による啓発



□ 実績推移

取組項目	単位	年度								
		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
和泉工場 軽油	総量 L	2,302	9,417	8,104	9,299	9,571	9,455	8,256	6,944	
	原単位 L/t	1.110	1.570	1.860	1.650	1.440	1.374	0.936	0.779	
朋友金属 軽油	総量 L	492	651	1,072	1,709	2,184	2,770	3,666	3,411	
	原単位 L/t	0.110	0.140	0.370	0.426	0.408	0.436	0.491	0.424	

## 水使用量削減

目標：2013年度実績の1%削減(原単位)

本社

2014年度の環境取組計画

1. 節水の呼びかけ

	目標	実績
【原単位】	1.421 m <sup>3</sup> /t	1.741 m <sup>3</sup> /t
【総量】	3,212 m <sup>3</sup>	3,823 m <sup>3</sup>

5月～7月冷却塔の不具合で使用量が増加。修理後も水量が減少せず、10月に水漏れ可能性がある部位を修復。しかし水量変化なし。2月に水漏れ発生発見、修復後3月原単位が目標達成出来、正常値に戻った。



和泉工場

2014年度の環境取組計画

1. 節水の呼びかけ

	目標	実績
【原単位】	0.029 m <sup>3</sup> /t	0.022 m <sup>3</sup> /t
【総量】	257.4 m <sup>3</sup>	192.0 m <sup>3</sup>

総量で達成率134%と非常によい結果を出せた。今後は、この使用量を維持したい。



□ 水使用量削減の取組事例

・節水の呼びかけのポスター



・環境配慮型水質改善装置(本社)

(水使用量削減)

朋友金属

2014年度の環境取組計画

1. 節水の呼びかけ

	目標	実績	
【原単位】	1.479 m <sup>3</sup> /人	1.592 m <sup>3</sup> /t	
【総量】	343.3 m <sup>3</sup>	399.3 m <sup>3</sup>	

生活用水としての使用削減には限界がある為、目標値は前年度実績値とし取り組んだが水使用量は増加した。前年度は減少しており、その実績を目標値としたもの前年度実績維持は出来なかった。増加した明確な原因が判明していない為、原因の究明と続けて節水の意識徹底に取り組む。



□ 実績推移

取組項目		単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
本社	水使用量の削減	総量	m <sup>3</sup>	3,696	4,302	5,223	3,155	3,200	3,349	3,244	
		原単位	m <sup>3</sup> /t	1.783	2.133	2.971	1.429	1.454	1.460	1.435	1.741
和泉工場	水使用量の削減	総量	m <sup>3</sup>	493	478	428	467	435	362	260	192
		原単位	m <sup>3</sup> /t	0.076	0.080	0.098	0.083	0.065	0.053	0.029	0.022
朋友金属	水使用量の削減	総量	m <sup>3</sup>	108	159	122	172.4	233.8	362.9	343.3	399.3
		原単位	m <sup>3</sup> /人	1.120	1.583	1.129	1.274	1.398	1.675	1.479	1.592

廃棄物排出量削減

目標: 2013年度実績の1%削減(原単位)

本社

2014年度の環境取組計画

1. シェル砂の無駄を省く 2. フィルターの清掃

	目標	実績	
【原単位】	0.242 t/t	0.253 t/t	
【総量】	547.5 t	556.6 t	

中子重量が重い品(PTO)の不良が増加した事や、中子使用の製品が増加した事で銧さい量が増え未達成になった。



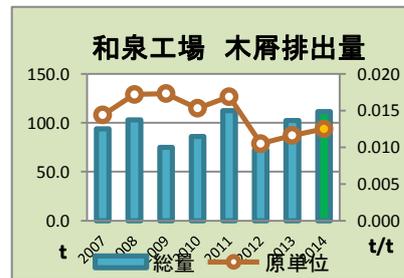
和泉工場

2014年度の環境取組計画

1. ネットワークへの移行

	目標	実績	
【原単位】	0.0115 t/t	0.0125 t/t	
【総量】	101.4 t	111.6 t	

量・原単位共未達成。削減策を見いだせなかった。輸入量が昨年比111t増、木箱も比例し増えた結果である。



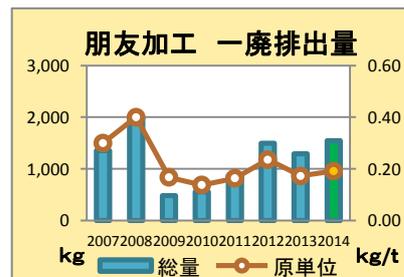
朋友金属

2014年度の環境取組計画

1. 分別排出 2. リユース 3. リサイクル

	目標	実績	
【原単位】	0.171 kg/t	0.192 kg/t	
【総量】	1,277 kg	1,542 kg	

前年度同様に分別排出の徹底に取り組んだが、原単位、総量とも増加し未達成となった。削減に向けて別の視点からアプローチすることも検討しなければならない。



□ 実績推移

取組項目		単位	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
本社	コウサイ	総量	t	551	530	450	524	556	551	556.6	
		原単位	t/t	0.266	0.263	0.256	0.237	0.253	0.240	0.245	0.253
和泉工場	木屑	総量	t	94.0	103.0	75.1	85.95	112.50	72.3	102.5	111.6
		原単位	t/t	0.0144	0.0172	0.0173	0.0153	0.0169	0.0105	0.0116	0.0125
朋友金属	一般廃棄物	総量	kg	1,350	1,990	480	552	873	1,496	1,290	1,542
		原単位	kg/t	0.300	0.400	0.167	0.137	0.163	0.236	0.173	0.192

化学物質使用量削減

目標: 2013年度実績の1%削減(原単位)

本  
社

2014年度の環境取組計画  
1.使用量の削減 2.使用量の徹底管理

	トルエン	目標	実績	☹️ × ×	
【原単位】	0.0475	L/t	0.0794		L/t
【総量】	106.80	L	174.35		L

ガンスプレータイプからタンク型エアスプレーへ変更。タンク内残量は使用量と考えたので使用量が増した。錆肌荒れ防止・外観重視の製品が増加したのも起因する。



	ホウ酸	目標	実績	😊 ○ ○	
【原単位】	0.0316	kg/t	0.0295		kg/t
【総量】	71.33	kg	64.8		kg

築炉の回数18回。昨年度20回で、回数が少ない分達成出来た。



和  
泉  
工  
場

	トルエン	目標	実績	😊 ○ ○	
【原単位】	0.0260	L/t	0.0095		L/t
【総量】	229.80	L	84.48		L

社内で行っていた塗装業務を外注へ出した為、使用量が削減出来た。



	キシレン	目標	実績	😊 ○ ○	
【原単位】	0.0039	L/t	0.0013		L/t
【総量】	34.27	L	11.568		L

社内で行っていた塗装業務を外注へ出した為、使用量が削減出来た。



	エチルベンゼン	目標	実績	😊 ○ ○	
【原単位】	0.0031	L/t	0.0010		L/t
【総量】	27.12	L	8.686		L

社内で行っていた塗装業務を外注へ出した為、使用量が削減出来た。



□ 実績推移

取組項目		単位		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
本社	トルエン	総量	L	78.16	61.29	87.17	107.88	174.35
		原単位	L/t	0.035	0.0278	0.038	0.048	0.0794
	キシレン	総量	L	0.080	0.090	0.050		
		原単位	L/t	0.000036	0.000041	0.00002		
	ナフタレン	総量	L	0.33	0.39	0.22		
		原単位	L/t	0.00015	0.00018	0.00010		
ホウ酸	総量	L	63.15	64.80	64.80	72.05	64.80	
	原単位	L/t	0.029	0.029	0.0282	0.0319	0.0295	
和泉工場	トルエン	総量	L			126.54	232.17	84.48
		原単位	L/t			0.018	0.0263	0.0095
	キシレン	総量	L			19.520	34.618	11.568
		原単位	L/t			0.00284	0.00390	0.00130
	エチルベンゼン	総量	L			17.41	27.39	8.688
		原単位	L/t			0.00250	0.00310	0.00097

## グリーン購入の推進

目標: 2012年度実績の1%増(購入率)

本  
社

2014年度の環境取組計画

1. 環境に配慮した物品等の調達に関するマニュアルに基づき購入を行う(物品等の購入は本社が包括)



集計を実施している備品購入業者より本年度から飲料品等を購入した為、未達成になった。年度中は経過観察の為目標は変更しなかった。次年度見直しをする。



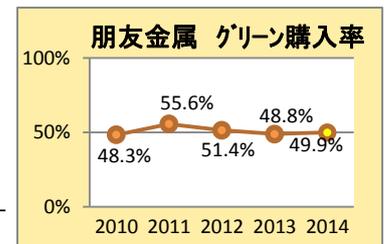
朋  
友  
金  
属

2014年度の環境取組計画

1. 環境への負荷が小さい製品の優先的購入



積極的に環境負荷の小さい製品購入を進めた結果、目標達成となった。引き続きグリーン製品優先の購入に励む。



□ 実績推移

取組項目	単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
本社 グリーン商品購入率	購入率 %	35.9%	31.4%	43.0%	58.3%	53.0%
朋友金属 グリーン商品購入率	購入率 %	48.3%	55.6%	51.4%	48.8%	49.9%

## 環境に配慮した生産・活動の推進

目標: 2012年度実績の1%低減(不良率)

本  
社

2014年度の環境取組計画

1. 不良率の低減 2. 原因解明・改善



毎月、品を変え不良率低減策を図ったが、大きな効果は得られなかった。SBの入替を1月に行ったが目標達成に至らなかった。



和  
泉  
工  
場

2014年度の環境取組計画

1. 不良上位3の対策を図る



前年度が突出して良い数値だったので目標達成出来なかった。中期目標は達成できているので悪い数値ではない。



朋  
友  
金  
属

2014年度の環境取組計画

1. 不良上位3の対策を図る



不良返品率は前年度より0.93%増加し目標未達成となった。新規製品の不具合、また不良内容のフィードバックと対策フォローが迅速に行われていなかった為ではないかと推測する。不具合対策を徹底し、不良率低減に努めたい。



取組項目	単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
本社 不良率の低減	不良率 %	7.6%	5.9%	5.1%	5.7%	7.7%
和泉工場 不良率の低減	不良率 %	5.8%	4.0%	3.7%	1.5%	3.4%
朋友金属 不良返品率の低減	不良返品率 %	6.5%	7.0%	5.8%	3.6%	4.5%

2014年度の取組

本  
社

再生可能エネルギー発電設備  
太陽光発電システム導入  
本社 事務所棟2015年3月  
太陽光発電パネル14.3kW 250Wx  
57枚



2014年9月30日  
みずほ銀行より 環境配慮型融資  
ECO評価付の社債発行



和  
泉  
工  
場

検査場 環境作業改善  
2014年10月  
和泉工場 検査場LED照明へ



2014年4月  
営業車用車 ハイブリットカー導入



朋  
友  
金  
属

事務所 薪ストーブ暖房  
2015年1月

使用済みの木箱を解体して燃料として利用



法規制	評価	評価方法又は対策内容
<b>本 社</b>		
廃棄物処理法	遵守	大阪府報告 マニフェスト管理
水質汚濁防止法	遵守	協同組合内処置 50m <sup>3</sup> /日 厳守
大気汚染防止法	遵守	高石市ばいじん数値報告 集塵機設置
消防法	遵守	高石市 1回/3年 点検実施報告書
70 <sup>+</sup> 排出抑制法	遵守	簡易外観点検 1回/3ヶ月
粉塵障害防止及びじん肺法施行規則	遵守	労働基準監督署報告 1回/3年
労働安全衛生法	遵守	リスクアセスメントの実施 1回/1年
<b>和泉工場</b>		
廃棄物処理法	遵守	大阪府報告 マニフェスト管理
消防法	遵守	和泉市 1回/3年 点検実施報告書
70 <sup>+</sup> 排出抑制法	遵守	簡易外観点検 1回/3ヶ月
労働安全衛生法	遵守	リスクアセスメントの実施 1回/1年
<b>朋友金属</b>		
廃棄物処理法	遵守	大阪府報告 マニフェスト管理
騒音規制法	遵守	和泉市騒音測定値報告
浄化槽法	遵守	1回/1年 定期検査、清掃1回/3ヶ月
70 <sup>+</sup> 排出抑制法	遵守	簡易外観点検 1回/3ヶ月
労働安全衛生法	遵守	リスクアセスメントの実施 1回/1年

環境関連法規の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表取締役 阪口新太郎

次年度の取組内容

<b>二酸化炭素排出量(kg-CO<sub>2</sub>)</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社、和泉工場、朋友金属	エネルギー使用量をサイト全体で共通し、1%削減を目標に取組み、結果として同等量の排出減を目指す
<b>電気使用量(kWh)</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社	不要な照明を消す
朋友金属業務	工場機械用品の作業効率化及びメンテナンスの強化 和泉工場 ショットブラストの時間短縮 空調の温度設定(夏:28℃、冬:20℃) 朋友金属加工 効率のよい生産計画
<b>ガソリン使用量(L)</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社	(特に定めず) 和泉工場 ・アイドリングストップ ・適正速度の実施
朋友金属	・アイドリングストップ ・効率的な運転 ・迅速な不具合対策
<b>軽油使用量の削減</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社	(特に定めず) 和泉工場 ・アイドリングストップ ・適正速度の実施
朋友金属	・アイドリングストップ ・効率的な運転
<b>廃棄物排出量の削減</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社	フィルターの清掃 和泉工場 木製から網スケットに変更し、木屑の発生を抑制する
朋友金属	分別排出を徹底し、リサイクル・リユース率を上げ廃棄物量を抑制する
<b>水使用量の削減</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社、和泉工場	・手洗い場、食堂、トイレ等での節水ポスターによる節水のよびかけ (朋友金属)次年度目標:2014年度実績を維持☆中長期目標:2012年度の実績を維持
朋友	手洗い場、食堂、トイレ等での節水ポスターによる節水のよびかけ
<b>化学物質使用量の削減</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社、和泉工場	・取扱に注意し使用量を少量ですませるよう心掛ける、使用量の徹底管理
朋友	化学物質の使用量の管理
<b>グリーン購入の推進</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%増☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%増
本社	環境への負荷が小さい商品を選択し購入 和泉工場 (物品等の購入は本社が包括)
朋友	環境への負荷が小さい製品の優先的購入
<b>環境に配慮した生産・活動の推進</b>	次年度目標:2014年度実績に対し1%減☆中長期目標:2012年度の実績に対し、2017年度までに5%減
本社	不良率の低減(原因説明・改善) 和泉工場 社内不良率の低減
朋友	不良内容のフィードバックと対策フォロー

総 評

＜本 社＞

CO2削減が出来ず残念な結果となった。昨年度にトランスの入替、本年度ショットブラスト入替とハード面で対策を講じたが、大きな成果は無く、不良率・歩留の悪化が起因し、削減目標を達成出来なかった。本社・和泉工場に太陽光発電を設置し、埋合せをした結果としては、CO2排出量の目標は達成できている。次年度は、各自、技術力を向上させ、不良率を低減させることに力を注ぎ、生産効率を上げCO2排出量を削減させたい。

＜和泉工場＞

CO2削減目標の達成は出来なかった。ガソリンと木屑が中期目標の数値近づいていないので、削減努力が必要である。ガソリンは、使用量増加は営業活動を行う上で必要不可欠であるが、会議等での和泉-本社間の移動は乗り合わせを検討するなど少しずつでも可能な箇所から削減していく必要がある。5R、循環型社会を目指し、産業廃棄物排出量削減が難しい現状なら、埋合せとして資源ゴミの紙類をリサイクル利用するなどの検討をする。

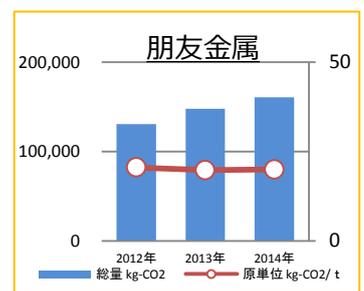
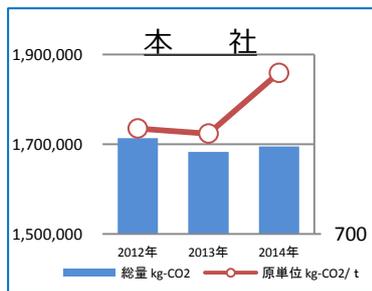
＜朋友金属＞

加工工場の増産、加工機の増設に伴い電気使用量が大幅に増加し、電気使用量、二酸化炭素排出量の目標が達成できなかった。当面の目標は加工時間の短縮など技術力の向上による原単位での削減とする。しかしながら、ガソリン、軽油使用量は削減でき、特に遠方の得意先の不具合対策による出勤回数の減少が目標達成に繋がったといえる。そのほか一般廃棄物、水使用量の目標未達成については明確な原因を追究する為さらに徹底した管理を行う。環境に配慮した生産・活動の推進項目の不良返品率の低減は、事業活動においても重要な問題であるため、迅速な不具合対策に取り組み目標達成に努めることとする。

代表者による全体評価と見直しの結果

2014年度は昨年度より売上が増加し、それに伴い電気使用量も増加し、3サイト合計で前年度より1%増となりました。しかしながら2014年3月に和泉工場に設置した太陽光発電による発電量を差し引いた結果、数値的には減少となります。また、さらに2015年3月に本社に太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーによるCO2排出削減に大いに貢献できると期待しています。3サイトを総合に見ると、軽油、化学物質の項目は目標達成できましたが、電気、ガソリン、産廃、水、グリーン購入、環境に配慮した生産・活動の推進の6項目では未達成となりました。2009年11月のエコアクション21認証・登録から5年が経過し、社内での環境活動の取組も定着しつつあるので、未達成となった項目はそれぞれ目標達成に繋がる継続的な改善においっそう取り組んでいきます。

CO2排出量推移グラフ



	基準年			基準年比
	2012年度	2013年度	2014年度	増減率
総量	1,713,687	1,683,159	1,695,081	-1.1%
原単位	747.03	744.76	771.89	3.3%

	基準年			基準年比
	2012年度	2013年度	2014年度	増減率
総量	82,342	70,120	71,925	-12.7%
原単位	11.97	7.95	8.068	-32.6%

	基準年			基準年比
	2012年度	2013年度	2014年度	増減率
総量	130,708	147,907	160,796	23.0%
原単位	20.58	19.80	19.97	-3.0%

\*排出係数0.514

2014年度のCO2排出量目標は、前年度実績の1%削減目標で取り組みました。3サイト合計の排出量は基準年の2012年の実績から2%削減という目標値に対して、0.1%の増加となってしまいました。しかし太陽光発電による発電量を差し引けば、数値的には2%の削減となります。とはいえ、排出量の削減が目標ですので、2017年の中期目標(2012年度実績から5%削減)の達成に向け、更に改善・工夫に努め全社で取り組んでいきます。2015年度も環境方針の見直しはなしとし、2014年度の実績の原単位での1%削減をめざし、積極的に環境保全活動を進めていきます。

3事業所合計CO2排出量





発行者 〒592-0001  
大阪府高石市高砂3丁目30番地

 **大阪金属株式会社**

tel: 072-268-0151 fax:072-268-0155

E-mai : takaishi@osakametal.co.jp

HP : <http://www.osakametal.co.jp>